

全老施協発第 2290 号  
平成 25 年 2 月 14 日

会員各位

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
会 長 中 田 清  
大会フォーラム企画委員長 松 村 武 久

## 平成 24 年度 全国老人福祉施設研究会議（愛知・名古屋）について（お願い）

平素から本会事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて本会では、既にご案内の通り、2月27日（水）～28日（木）、愛知県名古屋市にて全国老人福祉施設研究会議（愛知・名古屋会議）を開催します。

本年度は「地域を支える拠点施設として…科学的介護の実践！」をテーマに課題別の分科会を設け、実践研究発表等により先駆的な取り組みのご紹介、介護現場の実践状況等についての情報交換とプレゼンテーションを行う中で、高いケア力の蓄積をもって「科学的介護の実践」へとつなげる場として開催するものです。

申込期日が過ぎておりますが、2月18日（月）まで延長して受付けておりますので、この機会をご活用いただき、貴施設の積極的なご参加をお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 平成 24 年度全国老人福祉施設研究会議（愛知・名古屋会議） 概要

期 日 平成 25 年 2 月 27 日（水）～28 日（木）

開催地 愛知県名古屋市（愛知県体育館、名古屋国際会議場、ウエスティンコトヤキャッスル）

#### 2. 分科会プログラムにおける「実践研究発表」が決まりました。

別紙資料をご参照ください。

#### 3. 研究会議翌日に「栄養ケアマネジメント研修会」開催が決まりました。

期 日 平成 25 年 3 月 1 日（金）

開催地 愛知県名古屋市（名古屋国際会議場）

対 象 施設長、管理栄養士、介護・看護リーダー等

参加費 会員：10,000 円 非会員：20,000 円

ただし「平成 24 年度 全国老人福祉施設研究会議（愛知・名古屋会議）」  
に参加される場合は、会員：3,000 円 非会員：6,000 円

全国老施協HPより開催要綱・参加申込書等のダウンロードできます <http://www.roushikyo.or.jp/>

#### 〔問合せ先〕

公益社団法人全国老人福祉施設協議会（松岡、高橋）  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 2 階  
Tel. 03-5211-7700 Fax. 03-5211-7705  
E-Mail: js.zenkokutaikai@roushikyo.or.jp

No.	分科会	分科会	発表番号	発表テーマ(抄録原稿)
1	第1	認知症	1	前頭側頭型認知症ケア～前頭側頭型認知症の彼が特養で暮らせるまで～
2	第1	認知症	2	認知症タイプ別ケア～自立とQOLの向上を目指して～
3	第1	認知症	3	言葉の力～こまかさない対応が認知症介護を変える！～
4	第1	認知症	4	今、認知症介護が面白い～若年性認知症(レビー小体型)への取組～
5	第1	認知症	5	高齢者施設における若年性認知症の対応に関する一考察～ある家族性・若年性アルツハイマー病の利用者の対応をめぐる～
6	第1	認知症	6	ともに生きる～やさしさに包まれて～
7	第1	認知症	7	笑顔を取り戻し穏やかに過ごすS子さん～医療と介護のチームケアによる認知症ケアの実践～
8	第1	認知症	8	職員も入居者様も混乱しないように…～認知症ケアの充実を図るための一提案～
9	第1	認知症	9	利用者の不穏を減らそう～利用者の寄り添いを大切に～
10	第1	認知症	10	チームケアの在り方～認知症の不応行動のあるA氏から学んだこと～
11	第1	認知症	11	地域で認知症高齢者の暮らしを支える活動～在宅介護支援センターの果たす役割～
12	第1	認知症	12	「思い寄り添う」～その人らしく笑顔で生きる～
13	第1	認知症	13	基本的ケアが及ぼす認知症BPSDへの影響について～ここからはじまる認知症ケア～
14	第1	認知症	14	「科学的介護」～認知症ケアの現状と新たな取り組み～(仮)
15	第1	自立支援①	1	胃ろうよ さようなら～経口摂取への挑戦～
16	第1	自立支援①	2	胃ろうから経口摂取への実践事例～自立性回復と栄養状態改善について～
17	第1	自立支援①	3	美味しく食べよう～常食化を目指して～
18	第1	自立支援①	4	胃ろうから、常食移行期間中のADLの変化～常食移行期間中のADLとの関連要因の検討～
19	第1	自立支援①	5	超刻みから常食へ～常食により得られた御利用者の変化～
20	第1	自立支援①	6	胃ろうゼロを目指す取り組み～口から食べる喜びをもう一度～
21	第1	自立支援①	7	QOLの向上を目指した経口摂取への取り組み～食べたいを叶えられる施設を目指して～
22	第1	自立支援①	8	食の個別ケア～利用者の食形態の工夫にて満足を得られた一症例～
23	第1	自立支援①	9	もう一度食べてほしかったんよ～心をついに「生活スタイル向上」～
24	第1	自立支援①	10	もう一度、食べる喜びを共有するために～終の棲家として、できること～
25	第1	自立支援①	11	焼きそばから始まるストーリー～気持ちのいい生活への支援～
26	第1	自立支援①	12	夢実現プロジェクト～介護力強化への取り組みを通して～
27	第1	自立支援①	13	普通食への挑戦(仮)
28	第1	自立支援①	14	おやつソフト食≒常食への挑戦～同じ皿から分け合える、そんな家族的雰囲気を目指す～
29	第1	自立支援①	15	効果的な水分摂取の方法論～竹内理論における水分摂取～
30	第1	自立支援①	16	胃ろうから常食へ～2つの事例から～
31	第1	自立支援②	1	特養で元気になる！～おむつゼロ達成への3年間のあゆみ～
32	第1	自立支援②	2	根拠に基づいたケアを介護職員と一緒にすすめる作業療法士の役割～活動性を高め生き生きとした生活をめざして～
33	第1	自立支援②	3	下剤に頼らない排便サポート～苦痛の少ない自然な排便への取り組み～
34	第1	自立支援②	4	利用者のQOL向上について～週4回入浴の実現～
35	第1	自立支援②	5	重度化の中で介護技術について考える～ゆほうむ様原でのポジショニングへの取り組み～
36	第1	自立支援②	6	スマイル for Smiles～研修を通して伝えたい思い 広げたい笑顔～
37	第1	自立支援②	7	寄り添う介護～地域で暮らす～
38	第1	自立支援②	8	「ありがとう、ありがとう」～Kさんの暮らしの援助を通して～
39	第1	自立支援②	9	ユニットケアサービスの実践～ユニットケア1年生～
40	第1	自立支援②	10	家みたいでいいね！～自分らしい生活を～
41	第1	自立支援②	11	従来型特養における個別ケア～自立支援介護による尊厳の保持と回復～
42	第1	自立支援②	12	従来型特養における個別ケアへの大改革～3ブロック制導入による寄り添うケアの実践～
43	第1	自立支援②	13	スピーチロック廃止への取組み～あなたの声掛けが、拘束になるかもしれない～
44	第1	自立支援②	14	身体拘束廃止委員会での取組み～居住者体験を通して～
45	第1	自立支援②	15	私、お風呂にはいたい！～機械浴撤廃！個浴支援！！～
46	第1	自立支援②	16	チームアプローチによる利用者の精神的・身体的変化～入院後認知症が悪化した利用者様への個別ケア～
47	第1	自立支援②	17	QOL向上大作戦～QOL向上プログラムの実践とその意義～
48	第1	自立支援②	18	その人らしい生活を…～日々の生活を見直そう～
49	第1	看取り	1	特養における看取りとは～日常生活延長線から考える～
50	第1	看取り	2	人生の幕をおろすとき～施設での看取りの現状と課題、看護師の役割～
51	第1	看取り	3	やっと見つけた私の第三の人生～出逢い、別れを経てきた絆～
52	第1	看取り	4	看取り環境の充実へ向けて
53	第1	看取り	5	意思を尊重した看取りケアの実践～最期まで大好きなお寿司を食べに行きたい～
54	第1	看取り	6	自分らしく生活できる毎日に！～丁寧なかかわりから見える思いやりケア～
55	第1	看取り	7	『高度死後処置』導入！～故人からのメッセージ(我々への評価)～
56	第1	看取り	8	看取りケア～福祉施設の体験から～
57	第1	看取り	9	看取り介護の深化を求めて～笑顔の旅立ち～
58	第1	看取り	10	家族の思いに添い共に関わった看取り～穏やかな最期を望んだ家族の思いに応えて～
59	第1	看取り	11	家族と共に取り組む看取りケア～家族の想いに寄り添って～
60	第1	看取り	12	『ひとこと帳』しっかりと絆を求めて～看取りの中から見えてきた大切なこと～
61	第1	看取り	13	ユニット型特養における看取り介護～秋桜の里の見取り～
62	第1	医行為	1	暮らしの場で最期まで生きる～80の看取りが教えてくれたこと～
63	第1	医行為	2	介護・看護・多職種との連携～落陽荘におけるターミナルケア～
64	第1	医行為	3	ヒヤリハットって何？から始める事故予防～「プレコーションシート」活用による事故防止活動～
65	第1	医行為	4	ヒヤリハットを活かして～目線を変えて新たな一歩～
66	第1	医行為	5	介護と看護の連携強化への一案～医療的連携ケアに関するアンケート調査の活用～

No.	分科会	分科会	発表番号	発表テーマ(抄録原稿)
67	第1	医行為	6	笑顔の花を咲かせましょう～経管栄養者に対し、その人らしい生活を目指す～
68	第1	医行為	7	外部評価を受けるメリット～感染ネットワーク巡視を受けての取り組みから学んだこと～
69	第1	医行為	8	尿路感染対策～クランベリー効果～
70	第1	医行為	9	転倒・転落減少への道～データ分析結果から見えてきたもの～
71	第1	医行為	10	安心、それが私たちの願いです～重度の褥瘡発症者への多職種連携によるアプローチ～
72	第1	医行為	11	意地でも褥瘡を治してやる！～ケアの統一がいかに大事かわかった事例～
73	第1	医行為	12	NO MORE 褥瘡！！～スキントラブルの治癒と予防を目指して～
74	第1	医行為	13	褥瘡対策について～あるクレームから～
75	第1	リハビリ	1	QOLの向上～生活に変化を起こし願いを叶える為の機能訓練～
76	第1	リハビリ	2	日本原荘における機能訓練について～機能訓練はQOL向上の為に。～
77	第1	リハビリ	3	機能向上は他職種協働で～「元気が一番」～
78	第1	リハビリ	4	チームケアによる機能訓練の効果～移乗能力が改善した一症例～
79	第1	リハビリ	5	身体機能向上への取り組み～理学療法士の配置による機能訓練の実施
80	第1	リハビリ	6	手作りの物がある暮らし～生活の質の向上～
81	第1	リハビリ	7	人の心理に及ぼす色彩の効果～色で知る相手の心～
82	第1	リハビリ	8	施設のケアを変えるPT・OTの挑戦～トランスファーとシーティングに対するアプローチ～
83	第1	リハビリ	9	ご本人もスタッフも負担を軽く～天井走行リフトの導入と日々の活用～
84	第1	リハビリ	10	楽しくからだを動かす為に！！～アニマルセラピーを介して～
85	第1	リハビリ	11	メンタルケアの導入～タクトイルケアによる手の触れ合い効果～
86	第1	リハビリ	12	QOL向上に有効な学習療法に関する考察～学習療法を通じた、QOL向上までの歩み～
87	第1	リハビリ	13	高品質機能訓練にむけて～特養における3療法士の取り組み～
88	第1	リハビリ	14	リハビリケアの歩み～施設で出来るリハビリを探して～
89	第1	口腔ケア	1	口腔ケアで健口に～生きがいに繋げるために～
90	第1	口腔ケア	2	重曹水による舌苔除去の効果について～訪問歯科との連携による口腔ケアの技術向上～
91	第1	口腔ケア	3	栄養改善の取り組み ～重度要介護者におけるサルコペニア改善へのアプローチ～
92	第1	口腔ケア	4	看取り入居者の「食べたい」を叶えたい！～チームアプローチが摂食・ADLの改善に繋がった一例～
93	第1	口腔ケア	5	口腔ケアによる摂食嚥下の維持・向上～最後の日まで自分の口から！！～
94	第1	口腔ケア	6	口腔機能維持管理加算導入の取り組み
95	第1	口腔ケア	7	口腔ケア実施7か月間で顕性化した問題点～初めての業務に対する情熱～
96	第1	口腔ケア	8	誤嚥性肺炎ゼロに向けて～歯科医・歯科衛生士、管理栄養士の関わりと役割～
97	第1	口腔ケア	9	経口摂取は誰が決めるの？～『ミトンを取って、ブドウを食べたい』～
98	第1	口腔ケア	10	挑戦！全員常食～歯科医師から学ぶこと～
99	第1	口腔ケア	11	当施設における口腔ケアの取り組み～ケアの統一を目指して～
100	第1	口腔ケア	12	豊かな食を目指して～多職種協働における栄養ケアマネジメントへの反映～
101	第1	口腔ケア	13	生きる気持ちを支えるために～顎関節脱臼による摂食嚥下困難者への取り組み～
102	第2	経営	1	芦別で暮らし続けるために私たちができること～脳の健康教室がお塾を開講して～
103	第2	経営	2	「認知症になっても安心して住めるまち」を目指して～支援バスで思いをつなぐ～
104	第2	経営	3	事業所は一つのチーム～「運営・連携・調査・研修」取り組み～
105	第2	経営	4	事業所全部にサポーターズクラブ結成中～地域との繋がりに～
106	第2	経営	5	地域高齢者とのネットワークづくり～逆デイサービス110ヶ月の活動を通して～
107	第2	経営	6	安心して生き生きと暮らし続けたいから～みんなのネットワークをつくらう～
108	第2	経営	7	働きやすい職場とは～考え、学び、向上心が持てる環境～
109	第2	経営	8	社会福祉法人の使命と経営(山間部編)
110	第2	経営	9	社会福祉法人の使命～法人の基本理念の実現に向けて～
111	第2	経営	10	フレンド・アイ～何かお手伝い出来る事はありますか？～
112	第2	経営	11	みどりの園における安全運転管理～安全なくして繁栄なし～
113	第2	経営	12	理念を実現するために
114	第2	経営	13	施設に必要なリスクマネジメント～ヒヤリハットの活用とその事例～
115	第2	経営	14	ユニット型特養における共生型ケアの実践～ユニットケアにおける障がい者利用及雇用～
116	第2	経営	15	居室稼働率改善に向けた取り組み～介護の質向上を基盤として～
117	第2	経営	16	サービス向上から取り組む職場環境の改善～経営主体変更による1年目の取組について～
118	第2	経営	17	ケアハウス災害マニュアル～1人でも多くの入居者を助けるために～
119	第2	人材	1	EPA介護福祉士が日本の介護を変える～インドネシア人介護福祉士の目を通して～
120	第2	人材	2	外国人介護士との協働とその効果～Vision and Work Together!～
121	第2	人材	3	人材確保・育成の取り組み～職員が安心して働ける職場環境を目指して～
122	第2	人材	4	介護人材育成への取り組み～プリセプターシップを導入して～
123	第2	人材	5	業務に対する認識の違いを無くす～個々の向上とチームの向上を図る～
124	第2	人材	6	教育研修による成果～スタッフの意識調査と今後の課題～
125	第2	人材	7	法人内研修体制の構築～新規採用職員育成システム～
126	第2	人材	8	働きながら資格取得を～法人での無料講座開講により合格率100%を達成～
127	第2	人材	9	全介護職員のケアマネ取得への道～担当ケアマネとしての取り組み～
128	第2	人材	10	新人教育のプロセス～新人職員の資質向上～
129	第2	人材	11	新人職員の定着・中堅職員の育成～施設内研修を経て見えてきたもの～
130	第2	人材	12	法人内の研修体系の充実に向けて～研修委員会の取組み・内部人材の活用～
131	第2	人材	13	EPA介護福祉士候補者について(仮)
132	第2	人材	14	職員教育・能力開発～新人職員教育を通して職員育成に取り組む～
133	第2	人材	15	人事制度再構築～努力がきつと報われる職場環境作りを目指して～

No.	分科会	分科会	発表番号	発表テーマ(抄録原稿)
134	第2	人材	16	ぶち養成塾(人材育成)の歩み～考える力を育む～
135	第2	人材	17	人財の確得に向けて～人財開発メンバーの取り組み～
136	第3	—	1	デイサービスの枠を超えて～自宅での運動と自立支援を目指して～
137	第3	—	2	デイサービスにおける「送迎事故0件」を目指して
138	第3	—	3	「通所介護」の可能性～生活期リハビリテーションにおける役割と機能
139	第3	—	4	記録漏れ0を目指して～記録の重要性和時間の削減化～
140	第3	—	5	デイにおけるセラピーロボットの役割～震災後の利用者のために～
141	第3	—	6	特養デイでの障害福祉サービスの受入れ～若年層の頸椎損傷四肢麻痺者との関わり～
142	第3	—	7	高知県中山間地域介護サービス確保対策～高知県が取り組む補助対策～
143	第3	—	8	夢のみずうみ村デイサービスにおける時間延長の試み～夕食までのデイサービス～
144	第3	—	9	私はアルツハイマーです
145	第3	—	10	家族と共に歩んだ望みを叶える関わり～グループホームに馴染めなかった入居者に対して～
146	第3	—	11	高医療依存度利用者への支援体制の確立～訪問介護における喀痰吸引の実践を通して～
147	第3	—	12	在宅生活における残存能力を活かした援助～利用者が自分自身で選択できる生活が広がるために～
148	第3	—	13	小規模多機能型居宅介護の実践と課題～多様なニーズに対応するには～
149	第3	—	14	小規模多機能事業の実践と課題～清水園での取り組み～
150	第3	—	15	「父らしい最期を」～家族の願いを叶えた小規模多機能での看取り～
151	第3	—	16	グループホームと小規模多機能型居宅介護併設のメリット～在宅復帰を通して～
152	第3	—	17	ショートステイでの在宅支援への取り組み～リハ付ショートステイについて
153	第3	—	18	寄りそう事の大切さ～利用者の思いに寄り添えるケアを目指して～
154	第3	—	19	『時間の無駄と物品の無駄を省こう』～40件の無駄を解消する～
155	第3	—	20	自立した生活を援助するために～通所介護計画書から利用者様の満足度を向上させよう～
156	第4	—	1	指令「入居率100%を継続せよ!!」～目標達成のための12年間の歩み～
157	第4	—	2	みんな 来い! こい! ふまねっと～笑顔・花咲く憩いの場～
158	第4	—	3	心も体もいきいきと! ～みんなで、楽しくリハビリ体操～
159	第4	—	4	地域包括ケアにおけるケアハウスの役割～看取り介護を通して感じたこと～
160	第4	—	5	ケアハウスにおける“サービス”とは?～ご入居者への「安心」の提供を目指して～
161	第4	—	6	業務軽減・・・効率的な業務体制～ケアハウスゆうあい入居者支援管理システム～
162	第4	—	7	集団回想法への挑戦～新たな介護予防への取り組み～
163	第4	—	8	困難なケースを通じて～任意後見制度の事例から～
164	第4	—	9	軽費老人ホーム・ケアハウスでできる役割～他高齢者施設との比較から利点を探す～
165	第4	—	10	軽費における遊びリハビリテーションの実践と評価
166	第4	—	11	住み慣れた地域で自分らしく～これからの安心のために～
167	第4	—	12	ホップ・ステップ・治療食～健康で自分らしい生活を送るために。～
168	第4	—	13	退居の基準と後方支援についての取り組み～「支援する」その方法を考えた～
169	第5	—	1	養護老人ホームの経営管理～特別施設、人材育成、改築などについて～
170	第5	—	2	養護老人ホームの今日的意義～限界集落の現状と単身高齢者の老後サポート～
171	第5	—	3	養護老人ホームヒワサ荘の現状と課題
172	第5	—	4	自己啓発のススメ～自己啓発による新型養護老人ホームの取り組み～
173	第5	—	5	特定施設型の現状と課題
174	第5	—	6	養護老人ホームのSW機能強化を目指して～相談援助実習指導への取り組みから～
175	第5	—	7	適正体重に向けて食事・運動面からのアプローチ～目標に向かって! 楽しくダイエット～
176	第5	—	8	快口一番★舌好調～誤嚥事故の防止と口腔ケアへの取り組み～(仮)
177	第5	—	9	養護老人ホームにおける看取りの実践～いつもと同じ暮らしの中で～
178	第5	—	10	養護老人ホームにおける自立支援～機能訓練によるQOLの向上を目指して～

第1	認知症	14	101
	自立①	16	
	自立②	18	
	看取り	13	
	医行為	13	
	リハビリ	14	
第2	口腔ケ	13	34
	経営	17	
	人材	17	
第3	—	20	
第4	—	13	
第5	—	10	
			178